|  |  |
| --- | --- |
| **31**（月） | だけのの |
|  | **Ⅱコリ6章1～10節**　はわれます。「みのに、わたしはあなたにえ、いのに、あなたをける。」よ、はみの、はいのです。(2) |
|  | 、、このが、だけののです。Remnantはこのをすことなく、つのことをちましょう。そのつはでしょうか。１つ、のをちましょう。カルバリのでとれたと、のをわらせたキリストのをります。オリーブでられたのとのたしのをります。このをわいめれば、マルコのののえがそのままます。２つ、のをちましょう。には237かのがだれでもて、やされて、サミットになることができるつのがです。また、をいてRemnantがやされて、タラントをつけて、みことばのれにすることができるようにします。３つ、いのをちましょう。はRemnantにいのをえてくださいました。8のエチオピアの、10のコルネリウス、11のステパノのによりまったらされたたち、13にぺきなのきによるい、ローマ16ローマのたちのようにです。のにったは100、1000のえをえて、のえをけました。Remnantは、、をってりましょう。 |
|  | 、だけののをすことがありませんように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.07.28.2部 |

|  |  |
| --- | --- |
| **4/1**（火） | をつ |
|  | **Ⅱコリ7章1～9節**　するたち。このようなをえられているのですから、とののれからをきよめ、をれつつさをうしようではありませんか。(1) |
|  | Remnantがすることがあります。イスラエルはです。は、いつもとだけしています。はっているものをわれています。こののをえるのです。それとともに、のめのをってくのです。１つ、がくださったやぐらをのめにしましょう。のがもたちにいておられます。のと、、、をするえをたちにくださいました。５つのとのをつにつことができるもくださいました。からをるCVDIPとつののをってりめましょう。２つ、がくださったをきましょう。のがかれる、そのをきます。10の、10の、５つの、９つのれ、のえ62をって、のキャンプをするようになります。３つ、がくださったしるべによってめをけます。どこにっても、のきをければ、カルバリの、オリーブ、マルコのの、アンティオキア、アジア、マケドニア、ローマのしるべがてられるのをます。Remnantは、たましいとからだ、をかすりをめましょう。そので、のまことのめをけて、にえましょう。\*やぐら：りをするためにたてたいをします。\*：のやをします。\*しるべ：あるまでの、およびをえるしるしをします。 |
|  | 、のめのをって、とをかすRemnantになりますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.08.04.1部 |

|  |  |
| --- | --- |
| **２**（水） | のしみ |
|  | **Ⅱコリ7章10～16節**　のみこころにったしみは、のない、いにるいめをじさせますが、のしみはをもたらします。(10) |
|  | しみにはつのがあります。ほとんどのは、にえるなことのためにしみます。このようなのしみはびるしみです。しかし、のみこころにったしみはいにるようになります。パウロがをしんだのかてみましょう。１つ、ユダヤについてしみました。ユダヤはいより、をさらにして、＊いまでしていました。パウロは、ユダヤがわれることができるならば、がキリストからきされて、のろわれたとなってもいとさえっているといました。２つ、マケドニアについてです。マケドニアはをってをりすでした。いとはくれたギリシアがってきていて、ローマのをけているでした。パウロはマケドニアのためにしみました。３つ、ローマについてです。70にローマはイスラエルをぼしました。79には、ポンペイにわざわいがみました。そして、313まで、くのクリスチャンをしてしました。には、キリストをローマのとしてめましたが、そのにも、くのがました。パウロは、このようなローマのためにしみました。Remnantは、のみこころにったしみをしましょう。それはをえるためのしみ、にけたしみです。のをかすためのりをめましょう。\*：のによって、ていることをっているがびついてったグループのこと |
|  | 、のみこころにったしみ、をえるしみ、にけたしみをつことができますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.08.04.2部 |

|  |  |
| --- | --- |
| **３**（木） | のやぐら |
|  | **使16章6～10節**　それかららは、アジアでみことばをることをによってじられたので、フリュギア・ガラテヤのをってった。こうしてミシアのくまでたとき、ビティニアにもうとしたが、イエスのがそれをされなかった。(6～7) |
|  | Remnantはのやぐらをってきましょう。やぐらはがとともにおられるということと、もをわう24りです。すると25とのえがしたがってきます。Remnantはイエスがされたやぐら、、しるべをってつのことをすればいのです。１つ、わうことです。Remnant７と、らをけた、をかしたパウロは、イエスがくださったをってりでわいました。Remnantもをりでわって、すべてをりにえましょう。２つ、つことです。すべてのにイエスがされたのがむようにちましょう。すると、にいるがRemnantとともにおられるをるようになります。３つ、です。いよいよのがてきます。Remnantががくださるえをけてえるようになります。すると、とがかされます。Remnantはにをましたら、りをめましょう。をめたり、にいめるときからは、です。にはわって、って、するりをしましょう。にはみことばとりのえ、いのきをしましょう。、、にりをめましょう。 |
|  | 、りでれないのやぐらをてますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.04.02.ヨーロッパ伝道集会1講 |

|  |  |
| --- | --- |
| **４**（金） | ヨーロッパの-くのやぐら |
|  | **使16章6～10節**　パウロがこのをたとき、たちはただちにマケドニアにることにした。らにをべえるために、がたちをしておられるのだとしたからである。(10) |
|  | Remnantはに、ほかのよりしくきてをしましょう。イエスがくださったやぐら、、しるべのをって、しだけるのです。するとのきをるようになります。にったり、をめるがです。そのとき、パウロはつのことをしました。１つ、やしのやぐらをりました。パウロはがやすことができないをやしました。につかれたやののをしました。(13:5～12、16:16～18、19:8～20)２つ、Remnantのやぐらをてました。パウロはRemnantがいるにりました。そこで、なぜキリストがなのか、なぜるのか、まことのえはなのかをしました。(17:1、18:4、19:8)３つ、のやぐらをてました。がにわたってされたことと、とこしえまであることをくださいました。それを、るのです。(ロマ16:25～27)Remnantはにいをちましょう。にサミットタイムをしてサミットになりましょう。また、サミットのをえて、サミットのをしましょう。そのとき、からえられるにえないがえられます。 |
|  | 、、、のりのでやし、Remnant、のやぐらをてますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.04.03.ヨーロッパ伝道集会2講 |

|  |  |
| --- | --- |
| **５**（土） | Remnantの-あらかじめたこと() |
|  | **使19章8～20節**　パウロはにって、かのにり、のについてじて、をしようとめた。(8) |
|  | Remnantのは、あらかじめることがです。あらかじめるようになれば、そのときからすることができます。そのために、つのりをけましょう。１つ、ののりです。のをかすサミットのりをしましょう。のがのやぐらになって、のとをいてくださいます。このがに、、になるようにるのです。がくださったをしてるがきるでしょう。２つ、ののりです。すべてをりにえるサミットのりをしましょう。そのときから、がくださったタラントがえめます。どこにっても、がにえてくださる、ただ、、をつけるシステムができます。また、がと、たちと、すべてのこととともにおられる、ウィズ、インマヌエル、ワンネスがのシステムになります。３つ、ののりです。のとをかすサミットのりをしましょう。みことばがする10のとをかす10の、れをえる９つをりのでつけるのです。Remnantはと、に５、ってみましょう。をすることがこるのをるでしょう。 |
|  | 、、、のりをけて、あらかじめて、することができますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.04.03.ヨーロッパレムナント大会1講 |